保護者様

田村市立瀬川小学校長 星 善樹

夏休み前までの教育活動反省結果の報告について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

夏休みは、事故無く子どもたちが過ごせましたこと、そして、全員が元気に登校できたこと、これもひとえに保護者の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、夏休み前に教育活動のアンケートをお願いしましたところ、保護者の皆様全員にご回答いただきました。ご協力誠にありがとうございました。児童、教職員についてもアンケートを実施し意見を集めました。そしてそれらを参考に、これまでの教育活動について振り返り、今後より力を入れて実践することについて話し合いを持ちました。以下、その内容をお知らせいたします。

1. アンケート結果から

(1) 保護者アンケートから課題と思われる質問項目

(「4」「3」と答えた割合が80パーセントに満たなかった項目)

NO	質問項目	4,3の割合 (%)
3	家庭学習のやり方が分かり、意欲的に取り組んでいる。	59
6	何事も積極的に取り組んでいる。	78
8	家のお手伝いなど進んで行っている。	72
11	ゲームやPC、スマホなど節度をもって使用している。	66
12	「食べる」大切さを理解し、好き嫌いなく何でも食べようとしている。	63

(2) 児童アンケートから課題と思われる質問項目

(「4」「3」と答えた割合が80パーセントに満たなかった項目)

NO	質問項目	4,3の割合 (%)
5	丁寧に工夫してノートを書いている。	78
12	家でお手伝いをしている	78
17	規則正しい生活をしている。	78
19	好き嫌いしないで食べるようにしている。	72

2. 教育目標の達成に向けての進捗状況と今後の取り組みについて

以上のようなアンケート結果を参考に、教育目標の達成に向けての進捗状況と今後の取り組みについて教職員で話し合いました。以下、話し合いの内容を記載します。

(1) 確かな学力の向上について

① 目標

- 学習の方法を理解し、意欲的に取り組む態度を育成する。
- 全国・県学習状況調査において、どの教科においても全国・県平均を達成する。
- 標準学力検査偏差値目標55を目指す。

② 話し合った内容

- 子供一人一人に確実に学力をつけるため、複式指導についてももっともっと研修を積み、効果的な指導ができるようにならなければならない。
- 理解ができたと思う内容でも、時間が経つと忘れてしまっている内容があっ

た。計画的に復習をしていく機会を設ける必要がある。

- 授業がより効果的に行われるように「しっかり話を聞く」、「休み時間に次の授業の準備をする」など、授業のルールを再指導する必要がある。
- 家庭学習については良くやって来ている。自主学習については、やりやすい内容、得意な内容に偏りがちな子も見られ、学力向上になかなかつなげていけない。
- よい授業の基本は、子供同士が互いに認め合える学級作り。そのためにさらに力を注いでいかなければならない。

③ 今後の取り組みについて

- 自主学習の取り組み方について、自主学習ノートにその日にやることめあてを書くこと、そして、学習の終わりには反省を書くなどして児童がより主体的に取り組めるようにする。学年の発達段階を考慮しながら児童が必要を感じながら「やって良かった」と思えるような自主学習になるよう指導していく。学級によっては、予習の日など意図的に設定していく。）
- より効果的な複式指導のための研修を充実させていく。（授業研究会などを通して・・・）
- 「授業のルール」を再指導し、しっかり定着させる。
- 個々の子供が互いに認められる環境づくりに力をいれていく。

(2) 自己有用感の育成について

① 目標

- 自他のよさを理解し、仲良く協力する態度を育成する。
- 当たり前のことを当たり前でできる態度を育成する。
（「田村っ子のルール10」の身についた子供を）目指す。）
 - ・低 ⇒ 主として自分自身に関わること
 - ・高 ⇒ 主として田とのかかわりに関すること

② 話し合った内容

- ドングリコーナーにより他の子のよさを見つけ称賛する活動がより効果的に行われるよう記載させる内容や方法を工夫していく必要がある。
- 他の児童に対して、批判的な言葉や態度で接することがまだ見られる。
- 田村っ子のルール10については、靴そろえをきちんとやる、挨拶をするなどでできてきているが、一声かけられてからやるという姿もまだ見られる。

③ 今後の取り組みについて

- 現在行っている「困り事調べ」の内容について、自分が今困っていることについて記載する他、自己の行動を振り返る事ができる物に、他者のよさについて気付いた事を記載できる物に内容を変更して実施する。そして、他者のよさについてはドングリカードに記載させ、全校生に知らせるようにする。
- 話し方、聞き方にもっと力を入れて指導していきたい。
- 「いつでも・どこでも・だれにでも」挨拶をきちんとできるよう継続指導する。挨拶を教職員の方からさらに元気に行う事で、自然に挨拶が交わされる環境を作っていく。
- 様々な教育活動の中で、異学年の活動が充実するように、そして、子ども達が主体的に動かざる負えない状況を意識して作っていく。その一つの具体的な実践として、縦割り班が中心となって昼休みの遊びを企画し実施する「全校遊びの日」を設定していく。

(3) 体力・運動能力の向上について

① 目標

- 体力・運動能力テストにおいて、全国平均を目指す。
- う歯の未治療者「0」、肥満傾向児童の減少を目指す。
- 健康な子供の育成を目指す。

② 話し合った内容

- 外で遊ぶ子、体を動かして遊ぶ子を増やしていかなければならない。
- 日常的に運動できるよう取り組みを強化していかなければならない。
- 校内水泳記録会を大きな目標として、自分のめあて達成に向けて努力できた。
- 陸上でも水泳でも自己目標を持たせることにより頑張ろうという意欲の高まりがみられ、記録も伸びた。
- 様々な記録を自分手帳に書き込むことで意識の高まりが感じられた。
- う歯の治療が進んでいる。
- 食べ物の好き嫌いを少しずつ改善していきたい。

③ 今後の取り組みについて

- 朝のマラソン活動を充実させる。日常的に体を動かす機会を増やしていく。そのために、音楽をかけて活動と呼びかけたり、運動したくなるような環境を工夫したり、教職員も子どもと一緒に運動していく姿勢で取り組んでいく。
- 食べ物の好き嫌いを改善するために、養護教諭や外部講師と連携した指導に力を入れたい。
- 各体育的な行事において、しっかり目標を持たせ、練習の過程で自信をつけさせ、結果に結びつけていく指導を強化していく。
各種記録会や大会等の記録を子供達一人一人に持たせるようにする。6年間集積する形で。→ 子ども一人一人に記録を集積するためのファイルを配布。
- 夏休み明けから、健康な体作りの意識化を図るため、全校児童から希望者を募り、体重測定をしていく。(子供達が、自己の健康について考える一つの契機となることを期待しています。是非ご協力ください。)
- う歯の治療について、さらに進むように働きかけをしていく。(お子さんが未治療の保護者のみなさん、ぜひご協力ください。)

以上のようなことを意識しながら、今後の教育活動をより充実したものとしていきたいと考えております。教育目標の達成のため今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、学校からはこれまで同様、子どもたちの活動の様子をホームページ、学校・学級だより、メール等の方法で積極的に情報発信して参ります。

保護者の皆様も、ご家庭での児童の様子、学校へご意見、ご要望、励ましなどその都度お寄せいただければ幸いです。

(事務担当：校長 星 善樹 84-2218)